

学校便り 6月号

令和8年6月1日 発行
和歌山市立岡崎小学校

学校長 西岡 美也子

「緑色が濃くなり、気持ちの良い季節となりました。」これは令和7年の6月の学校便りの冒頭の言葉です。今年度は5月中旬から気温が上がり、体育や運動場での遊びも、ひやひやしながらいきました。近年の厳しい暑さを受け、気象庁が、2026年4月に「酷暑日(こくしょび)」という予報用語を追加したほどです。新しい予報用語ですが、何度も使うことにならないようにと願うばかりです。

気温についてだけでなく、豪雨災害などに関する新たな防災気象情報も発表され、5月28日から運用がスタートしました。

予報用語

夏^{なつ}日^び 最高気温が25度以上
真夏^{まなつ}日^び 最高気温が30度以上
猛暑^{もうしょ}日^び 最高気温が35度以上
酷暑^{こくしょ}日^び 最高気温が40度以上

新たな防災気象情報(気象庁ホームページより)

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			

新たな防災気象情報の運用に伴い、2026年4月9日に配付させていただいた「緊急時の臨時休業または自宅待機の措置についてのお知らせ」を改訂いたしました。本日、6月1日にLINEスクール連絡帳とプリントにて配付させていただきます。プリントは目立つところに貼っていただき、いつでも対応できるようお願いいたします。

また、国語科の学習では、6年生が、「いざという時のために」という単元で自分や家族の身を守るために、必要な防災への取組を提案書にまとめる学習をしています。「土砂崩れに備えよう」「地震に備えよう」等、6年生らしい視点で、提案書を作成できています。6月3日(水)には、地震のあと、火災が起こったことを想定した避難訓練を行います。避難訓練では、事前指導はもちろんのこと、訓練後には全学年で振り返りを行います。

このように、岡崎小学校全体で、災害に備えるよう取り組んでいます。ご家庭でも機会をとらえて、子どもたちと話し合ってくださいませよう願っています。

土砂崩れに備えよう

岡崎小学校には、教室 職員室 特別教室などの部屋や校舎から校舎へ行くための通路があります。それらがもし、土砂崩れの被害にあったらどうなるのでしょうか。どんなことが起き、それにどうやって備えればよいのでしょうか。



左の写真を見てください。土砂崩れの被害にあい、こわれているところがあります。この学校は、土砂崩れの対策をしていなかったのでしょうか。岡崎小学校も今のままでは土砂崩れが来ると、職員室がこわれたり空いている窓から土が入ってきたりしてしまうかもしれません。そんな事にならないためにはどうすればよいでしょうか。対策としては、避難用バックを作り、その中に長靴やかっぱなどを用意しておいたり、学校の出口を高くすると、土砂で出口がふさがれてにげおくれることがないようにするでしょう。



左の図を見てください。約6割の人が土砂災害に対する意識を高めていると答えています。今までの経験から土砂崩れには気をつけようと思えば備えをする人が増えると土砂崩れの被害を防げるかもしれません。

土砂崩れはとってもこわいものです。まず、自分たちだけでもできる取り組みを考えてみてはどうでしょうか。備えをすれば被害を減らせるはずです。